

やまがた地球家族

YAMAGATA GLOBAL FAMILY



Nymphaea stellata, Myanmar (Wikimedia Commons より)

『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』機関誌 VOL.20

やまがた地球家族の会 設立20周年記念式典

2024年10月6日、鶴岡市の出羽庄内国際村にて、当会の設立20周年記念式典が開催されました。2004年10月の設立以来、JICAボランティアの支援、草の根レベルでの国際協力、国を超えて「地球家族」の輪を拡げていくことを目的として地道に活動してきました。



記念式典には約20名が出席し、酒井会長の挨拶や来賓からの祝辞が述べられました。式典後には、JICAボランティア経験者の体験談を基に、今後の支援の輪を広げるための会の取り組みについて考えるワークショップが実施されました。↗



ワークショップでは、幅広い世代、様々な立場、協力隊経験の有無など実に多様な参加者が小グループに分かれて、当会の今後の活動などについて活発な意見交換を行ないました。



参加者の皆さんから出された多くのアイデアは模造紙にまとめられ、全員で共有。実現可能なところから実際に行動に移すことで、より意味のある対話の場を作っていききたいものです。

20周年にふさわしく、当会の未来と山形県における多文化共生のあり方を考える1日となりました。

※「協力隊を育てる会ニュース」にも1面トップで掲載されました！

1 THE SUPPORTING ORGANIZATION OF JICA

2024 第482号 (2024年11月号)

協力隊を育てる会ニュース

第482号

一般社団法人 協力隊を育てる会
〒981-8501 山形県鶴岡市出羽庄内1-2-7 出羽庄内国際村
TEL: 0236-524141 FAX: 0236-524140
E-mail: www.ygfamily.or.jp

発行部数	発行部数	発行部数	発行部数	発行部数
2024年11月号	2024年10月号	2024年9月号	2024年8月号	2024年7月号
1,000部	1,000部	1,000部	1,000部	1,000部
1,000部	1,000部	1,000部	1,000部	1,000部
1,000部	1,000部	1,000部	1,000部	1,000部

設立20周年記念式典を開催 —協力隊を支援するやまがた地球家族の会—

10月6日(日)、出羽庄内国際村(鶴岡市)で「協力隊を支援するやまがた地球家族の会(やまがた地球家族の会)」の設立20周年記念式典が開催された。

やまがた地球家族の会は2004年10月2日に設立総会を開催、設立準備会代表(当時)の酒井忠久氏が会長に就任、現在に至っている。20周年記念式典開催にあたり、酒井会長は、コロナ禍以降新たな紛争が生まれるなど世界情勢が不安定の中、国境の人々を苦しめる

祝辞を述べた。

やまがた地球家族の会では、協力隊経験者の採用や開発途上国への事業展開に関心をもち、地元企業に対してセミナーの開催や情報提供を積極的に行っている。

また、2015年には庄内町合併10周年記念事業として、同町の中学生をオンライン(オンライン)へ派遣、現地の協力隊員等を視察する海外研修事業を複数年わたり開催し、当会もこれに協力している。この他、協力隊50周年記念

上: 山形県立国際文化センター
下: 山形県立国際文化センター

山形新聞の社説に掲載！ 『海外協力隊 支える意義』

2024年12月23日付の山形新聞に【地球家族の会20周年 海外協力隊 支える意義】と題した社説が掲載されました。以下、要約を掲載します。山形新聞では隊員からの寄稿連載「世界が舞台～活躍する県人」が継続中。これからもご愛読よろしくお祈りします！

~~~~~

【社説】JICA海外協力隊を支援する「やまがた地球家族の会」が設立20周年を迎えた。同会は2004年に鶴岡市で発足し、県内各界が協力隊員の活動や就職支援を行っている。➤

海外協力隊は1965年に始まった政府開発援助の一環で、川西町出身の寒河江善秋が制度創設に貢献した。これまで途上国への技術協力や草の根交流を通じて国益に寄与し、グローバル人材育成の場として機能してきた。

山形県からは約540人が派遣され、現在も15人が活動中。しかし近年は志願者が減少傾向にある。少子高齢化による人手不足で企業の派遣協力が消極的になり、帰国後の就職不安や選択肢の多様化、内向き志向の増加が背景にある。

グローバル化が進む中、協力隊経験者の活躍の場は多いはずで、チャレンジを支える社会環境づくりが重要だ。(要約)

## 《令和6年度 協力隊を支援するやまがた地球家族の会 事業報告》

| 日時     | 項目                                                                  | 会場      | 内容                                                                    |
|--------|---------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------|
| 6月1日   | 総会                                                                  | 出羽庄内国際村 | 会場18名、Zoom4名<br>JICAからの事業説明<br>活動報告（山口吉彦さん）                           |
| 6月9日   | 国際村ワールドバザール出展                                                       | 出羽庄内国際村 | 協力隊PRなど                                                               |
| 10月6日  | 20周年記念式典                                                            | 出羽庄内国際村 | 約20名参加<br>ワークショップも実施                                                  |
| 11月12日 | JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業ハイブリッドセミナー「海外展開までのいろは～目指せボーダーレス～」            | AIRY研修室 | JICA東北主催イベントに後援として参画。個別相談会も実施された。<br>対面21名、オンライン25名参加<br>(登壇者、運営者を除く) |
| 7月23日  | 表敬訪問：山形県<br>1次隊派遣：石沢剛さん、渡辺美月さん                                      | 山形県庁    | 山形県みらい企画創造部長と懇談<br>山形理事が同行                                            |
| 11月15日 | 表敬訪問：山形県<br>2次隊派遣：松田比奈さん、杉原ひとみさん、齋藤美友さん、橋本実奈さん、今野隆さん、高橋菜津音さん、菅井嘉代さん | 山形県庁    | 山形県みらい企画創造部長と懇談<br>齋藤副会長が同行                                           |
| 11月18日 | 表敬訪問：三川町<br>2次隊派遣：松田比奈さん                                            | 三川町役場   | 三川町長と懇談<br>田中事務局長が同行                                                  |
| 11月19日 | 表敬訪問：鶴岡市役所<br>2次隊派遣：今野隆さん                                           | 鶴岡市役所   | 鶴岡市長と懇談<br>田中事務局長が同行                                                  |

・育てる会カレンダー作成および会員への送付

※「設立20周年」のフレーズも入れました

## 地球規模で考えよう！ JICA国際協力中高生エッセイコンテスト

2024年度テーマ

### 【未来の地球のために～私たちにできること】

今年度は、中学生の部16,526作品、高校生の部19,676作品が寄せられました。県内からは渡會愛香さん（米沢興譲館高校1年）が最優秀の「文部科学大臣賞」に輝きました！

#### ◆文部科学大臣賞

「寄付は寄付だけではない」

渡會愛香さん／米沢興譲館高校1年

#### ◆国際協力特別賞

「同じ地球に暮らす仲間として」

鈴木慶雅さん／山形大学附属中学校3年

#### ◆JICA東北所長賞

「その一歩から未来へつなぐ」

池田優花さん／山形大学附属中学校3年

「つながりを武器に」

鈴木虹さん／九里学園高等学校2年

#### ◆特別学校賞

山形県立鶴岡中央高等学校

#### ◆学校賞

飯豊町立飯豊中学校、米沢市立第六中学校

2024  
エッセイ  
コンテスト  
表彰

### 「寄付は寄付だけではない」 渡會愛香さん

この作品は、母親の言葉をきっかけに国際支援に目覚めた高校1年生の体験を綴っています。小学4年生のとき、母親から「日本に生まれただけで幸せ」と聞いた筆者は、当初は発展途上国の現実に関心を持っていませんでした。しかし高校でSDGsを学び、ケニアのシングルマザー支援ボランティアに参加します。月収3～4千円で家賃5万円を払い、1日1～2回しか食事をとれない現実を知り、自分の恵まれた環境を実感しました。「チャイルドドクター制度」を通じて寄付を始めると、支援先の母親から感謝のメールが届きます。これにより筆者は、寄付とは一方的な支援ではなく、互いに理解し心を寄せ合う関係だと気づきました。自分事として捉えることで、誰でも世界の人々とつながれると呼びかけ、継続的な支援への決意を表明しています。(要約)

## 2024年度 総会を開催！ JICA東北所長、OV山口考彦氏の講話

2024年度総会が開催され、山形県、鶴岡市、JICA東北、協力隊を育てる会など関係機関からも多数のご参加をいただきました。JICA東北所長からはJICA事業の現状について詳しくご説明いただき、協力隊を育てる会会長からは「現在派遣中の隊員は1400名。2000名まで引き上げたい」との決意が示されました。

総会后、OV（＝元協力隊員）の山口考彦氏による講話では、パラオでの学芸員活動、「アマゾン展」の開催、高校の国際交流コーディネートなど多岐にわたる活動をご紹介します。



庄内地方の国際化について「マイノリティを支える人々や国際化の必要性を理解する人は増えているが、異なる国の人々が交流する機会はまだ少ない」と現状を分析。地域の共通課題を可視化し、解決していく仕組みづくりが重要だと述べました。

更に「個人でできることには限界がある。地域の面白い人をつなげ、異なる背景を持つ人々が共に生きる仕組みを作りたい」と語り、OVが連携しての社会還元に取り組む意欲を示しました。

地域の国際化推進における課題と可能性が浮き彫りになり、関係機関の連携強化と新たな取り組みへの期待が高まりました。



← 渡會さんの作品など、過去の優秀作品を全文を読めます！  
JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテストHP

「コスタリカ・日本 協力 50 周年記念」ページより

コラム

コスタリカ・協力隊員の父母～岩澤夫妻

山形県出身の岩澤治雄さんは、1965年に青年海外協力隊の初代隊員としてフィリピンで園芸指導に携わった後、民間企業の駐在員としてコスタリカに赴任。妻の文枝さんはメキシコ生まれの日系2世で、1975年にコスタリカで治雄さんと結婚。当時のコスタリカには協力隊の事務所も調整員もおらず、岩澤夫妻の自宅が隊員たちの心の支えとなりました。治雄さんは農業の専門知識で隊員の活動をサポート。文枝さんは庭でごぼうを育て、味噌や納豆を手作りして隊員たちに日本の味を提供し、「お母さん」と慕われました。若い隊員たちの兄貴&姉貴から父親&母親へと役割が変化しながら、長年に渡って隊員を支援した功績から2016年、治雄さんは「青年海外協力隊の父」として外務大臣表彰を受賞。現在は、故郷山形に眠っておられます。

●JICA山形デスクから離任の挨拶：村岡智子さん

山形県国際協力推進員として3年間大変お世話になりました。山形を離れている期間も長く、着任当初は山形県内のことをおさらいしつつ過ごす日々でした。皆さまには様々な場面でお力添え頂き、ご助言頂きましたこと厚く御礼申し上げます。近年言葉の存在感が増してきている「多文化共生」や「地域創生」などに対して、帰国隊員らの関わりやアクションが山形県内でも活発に見られると感じております。



帰国後の隊員サポートなどのご経験も豊富なやまがた地球家族の会の皆さまには、引き続き頑張る隊員の心強いサポーターとしてお力添え頂けますと幸いです。改めまして大変お世話になりました。ありがとうございました。

出羽庄内国際村  
ワールドバザール大盛況！

2025年6月8日、数千名が来場する出羽庄内国際村のお祭り「ワールドバザール」に、今年もJICAとの合同ブースとして出展しました。出展にご尽力くださったJICA山形デスク村岡さん、いつもありがとうございます！



鶴岡市出身でJICA南アフリカ事務所に勤務しておられる板垣さんもご来訪。出展にご協力下さったOVの佐久間さん佐藤さん金峰さんと、鶴岡市長と共に笑顔で記念写真♪ 有意義なブース出展となりました。



『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』  
入会のご案内

【会費】

- 個人会員=3000円 ●家族会員=1000円（個人会員の家族）
- 学生会員=1000円 ●団体会員=10000円（企業及び団体）

【会員特典】

JICA ボランティアの姿を通して、世界が見える！  
「国際ボランティアマガジン 月刊《クロスロード》」を、年間購読料 5000 円のところ、希望する会員には 2000 円の送付手数料のみで 1 年間 12 冊ご提供いたします。

☆お問い合わせ／ご入会のお申し込みは、当会事務局まで。

やまがた地球家族 Vol.20

令和 7 年 6 月 2 9 日発行（第 2 0 号） 発行人／酒井忠久



発行／〒 997-0036 山形県鶴岡市家中新町 13-35 田中方『協力隊を支援する やまがた地球家族の会』事務局  
TEL) 090-2743-9895 (田中) E-mail) info@chikyukazoku.net Website) http://www.chikyukazoku.net/